

もつと、
大切なものがある。

スマホと子ども、一日にどちらを見る回数が多いですか？

スマートフォン。私たちの時代ではなくてはならないものになりました。でも、時代は変わっても、子どもたちの「親」に見て欲しい気持ちは変わりません。スマートフォンを見るよりも、「今」しかない子どもたちの瞬間を見ませんか？



こんな人たちに支えられている
松江の子育て

松江市内では数少ない、夜間・深夜・休日保育を行う託児所 バンボハウス 赤松利都子 施設長



午後7時にバンボハウスにお邪魔すると、玄関で迎えてくれたのは元気に施設内を走り回る1歳から10歳までの5人の子どもたち。プレイルームで遊んだり、キッチンで宿題をしていたりとアットホームな印象でした。取材に対応していただいた赤松利都子施設長。看護師として勤務された後、縁がありバンボハウスの前身の会社に夜間保育園の保育士として転職。その後、経営を引き継がれ現在のバンボハウスを自ら経営。来年で10年目を迎える。当時を振り返るとスタッフ同士初めての事だらけで不安が沢たくさんあったそうです。この10年、自身の子もおもも出産し、実際に子育てしながらの経営に子ども達の成長が私を成長させてくれていると話してくれました。そんな赤松施設長に現在のバンボハウスの状況、今後の課題などの話をお伺いしてきました。

バンボハウスってどんなところ？

夜間をメインとした認可外の保育園です。0歳から12歳までのお子さまをお預かりしています。土日の屋間のご利用も最近では増えてきましたね。基本前日までにご連絡いただければ、どなたでもお子さまをお預かりしています。年齢の幅が普通の保育園より広いので、上の子どもが下の子どもの面倒をよく見てくれます。下の子どもは上の子どもを見て成長していきます。みんなが家族の様なアットホームな感じです。1時間からの利用も可能ですので、お困りの際にはお気軽にご連絡いただけたらと思います。



色々な年齢の子どもが仲良く、兄弟のように遊んでいます。

経営を引き継がれたのはなぜ？

施設に預けていただいていた子どもたちの行き場がなくなってしまうという事が一番ですね。そして保護者の方たちも非常に困っていました。施設を利用されている方達の理由はさまざまですが、夜間に子どもを預ける必要がある方たちです。子どもを預けるところがこそこかないと思うと諦めるわけにはいきませんでした。

個人経営で大変ではないですか？

もちろん大変です。経営に関して公的補助はありませんので、皆さんからの託児料で成り立っています。玩具ひとつ購入するのにも苦労しています。しかし、それ以上に保護者の方はもっと困っておられると思います。第1子から夜間の託児料への補助があれば助かる保護者の方は多いと思います。利用者さんと支えあいながら、なんとか経営しているのが現状です。夜間保育の必要性、需要はたくさんあると思います。最近では県外市外からの一時保育の依頼なども増えてきています。出張で松江に来ているシングルの方、松江で用事があり数時間預けたいという方、理由はいろいろですがやはりちゅうちよしてしまう理由は情報や値段ではないでしょうか。価格表を見て頂ければわかりますが、一時保育の値段はお安くなっています。なるだけ保護者の負担を減らそうと頑張っています。市や県に対してもそういった方たちへの助けが必要ではないかと感じています。

託児所運営での喜びは何ですか？

やはり子どもたちの成長を他の保育園より長い年齢で見れる事がうれしいですね。また、保護者の方へいろいろなアドバイスもしてあげます。風邪気味じゃないかな〜?とか季節の変わり目の服装の事や食事。申請する事でもらえる助成金などサポートはさまざまですが、「ありがとう」の言葉が何よりもうれしいですし、やりがいとなっています。

どんな方に利用して欲しいですか？

短時間からのご利用も可能ですので、夕方のちよつとの時間、預けたいけど預けられる人がいない方や夜間働いて明け方まで預ける人がいない方。夜間の保育でお困りの方は気軽にご相談頂ければと思います。

バンボハウス (松江市局出済)

松江市雑賀町75 (松江駅より徒歩15分、国道9号堅町交差点より南へ100m、森本産婦人科医院さん隣)

営業時間 8:00~翌3:00(翌4:15まで延長可)、宿泊も可能

☎0852-25-7228 ✉ happy-banbo@ezweb.ne.jp

料金等の詳細や利用時は、電話又はメールにてご確認ください。
※日曜日は完全予約制です(お急ぎの方は080-6327-4513へお電話ください)

facebookもやっています!